



日本骨髄バンクの現状（平成 25 年 8 月末現在）

	7 月	8 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,727	2,701	435,367	588,850
患者登録者数	273	221	2,916	39,569
移植例数	121	119	—	15,955

■ 8 月の年齢別ドナー登録者数（現在数）

10 代	3,045 人
20 代	71,359 人
30 代	151,549 人
40 代	166,919 人
50 代	42,495 人

■ 8 月の 20 歳未満の登録者 114 人

注) 平成 24 年 7 月より集計方法が変わりました。

■ 8 月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／802 人、献血併行型集団登録会／1,736 人、集団登録会／99 人、その他／64 人

注) 数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 平成 26 年度移植対策関係予算概算要求の概要について

平成 26 年度の移植対策関係予算概算要求の概要が、厚生労働省健康局臓器移植対策室(※)より示されました。当財団に対する国庫補助金については、初期コーディネート期間短縮のための措置の強化を含め、前年度比約 200 万円の増額要求となっています。

なお、当財団に関係する主な予算については以下のとおりです。

「造血幹細胞移植医療体制整備事業」として、造血幹細胞移植の拠点的な病院の整備費用 2 億 1,800 万円が計上され、平成 25 年度から事業を開始する 3 カ所分の経費のほか、新規の 3 カ所分の経費が追加計上されています。この事業は、患者の病気の種類や病状に応じて、3 種類の移植法（骨髄移植、末梢血幹細胞移植、臍帯血移植）のうち適切な移植法を選択し実施できる体制を確保した拠点的な病院を整備し、造血幹細胞移植に関する人材育成や診療支援等を行うことにより、地域の造血幹細胞移植医療体制の底上げを図ることを目的としています。

また、「末梢血幹細胞採取体制の整備」として、平成 24 年度から造血幹細胞数測定装置の整備に関する補助が開始されており、保健衛生施設等施設・設備整備費国庫補助金の対象事業として、引き続き実施される予定となっています。これによって、非血縁者間末梢血幹細胞移植の認定施設がさらに拡大し、末梢血幹細胞移植の増加によるコーディネート期間の短縮が期待されます。

※10 月 1 日から移植医療対策推進室に名称が変わります。

2 「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」の基本方針（案）について

新しい法律の施行に向けて、昨年 12 月より厚生科学審議会疾病対策部会造血幹細胞移植委員会が計 11 回開催され、基本的な方向性のあり方に関する議論が行われてきましたが、このたび 8 月 30 日をもって最終的な基本方針案が取りまとめられました。

「造血幹細胞移植を必要とする者が造血幹細胞移植を受ける機会が十分に確保されること」という法律の趣旨に則り、造血幹細胞移植に関わる事業者の責務のあり方など、幅広い視点で検討された内容が盛り込まれています。

その中で「造血幹細胞の提供の促進」に関しては、①より早期の移植を行うために定期的な手術室の確保や末梢血幹細胞移植の普及を促進させること、②造血幹細胞移植の基盤整備を目的とし、



造血幹細胞移植の推進のための拠点的な医療機関の整備を段階的に進めること、③骨髄・末梢血幹細胞のドナー登録者の情報や臍帯血の情報が一元的に管理され、インターネットを通じて医師が一括して適合検索ができるシステムを構築するとともに、患者やドナー、国民が知りたい情報を手軽に入手できるよう造血幹細胞移植に関するポータルサイトの整備を進めること、などが示されています。

これらの内容は、「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進を図るための基本的な方針（案）」として、今後、厚生労働省のホームページに掲載され、パブリックコメントの募集を行い、一般の方々からも広くご意見を求めていく予定です。

3 政府広報オンライン&政府インターネットTVが骨髄バンクPR動画を10月から配信

このたび内閣府政府広報室では、骨髄バンクのドナー登録者の拡大を目的とした動画を制作、10月上旬から政府広報オンライン「お役立ち情報」及び「政府インターネットTV」で配信予定です。

政府広報オンライン「お役立ち情報」は、国民の暮らしに役立つ情報をホームページで提供、政府インターネットTVは、国の重要な課題についてわかりやすく解説した動画を配信しています。

内閣府政府広報室では、一般国民の中の潜在的なドナー登録者を掘り起こすため、配信予定の動画について、①骨髄移植等の基礎知識、②骨髄移植等の現状、③骨髄移植等に向けた取り組みなどを訴求する内容にしていく予定です。

○政府インターネットTV <http://nettv.gov-online.go.jp/>

○政府広報オンライン「お役立ち情報」 <http://www.gov-online.go.jp/useful/>

4 献血ルームに説明員を派遣 ～神奈川県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業～

神奈川県は緊急雇用創出事業臨時特例基金事業のひとつとして骨髄ドナー登録案内事業を開始し、委託団体が雇用した説明員6名が、9月から県内2カ所の献血ルームで献血者に対してドナー登録を呼びかけています。

神奈川県では、人口に対するドナー登録者の比率が全国と比較すると低い状況であり、昨年開催した「神奈川県骨髄・さい帯血移植推進協議会」において、平成22年度から埼玉県が緊急雇用創出事業による骨髄バンク支援事業を実施することにより、ドナー登録者数が著しく増加している事例が挙げられたため、これを参考に本事業を開始することとなりました。

これにより、埼玉県に続き、神奈川県でもドナー登録者の増加が期待されます。

5 10月は骨髄バンク推進月間！ 新宿東口駅前で骨髄バンク推進イベントを開催

10月は骨髄バンク推進月間です。その皮切りとして、10月5日(土)、東京・新宿東口駅前の新宿ステーションスクエアにおいて、ライオンズクラブ主催、財団、全国協議会、日赤、東京青年会議所共催の献血及び骨髄バンク支援イベントが開催されます。会場では、10時～16時まで献血とドナー登録会が開催されるほか、ステージでは提供ドナーの方、元患者さんが体験談を語るトークショ



ーやバンドによるコンサート、広場では募金活動が行われる予定で、盛りだくさんな内容となっています。皆様のお越しをお待ちしています。

6 「骨髄バンクチームラン」10月25日(金)国立競技場にて開催!

骨髄バンクのチャリティランニングイベント「骨髄バンクチームラン」が10月25日(金)、19時から国立競技場で開催されます(18時受付開始予定)。90分のリレーマラソン形式で、個人でもチームでも参加できます。皆様のご参加をお待ちしています。詳細は、ホームページをご覧ください。

骨髄バンクチームラン HP <http://jmdp-run.org/>

7 非血縁者間骨髄採取施設・移植診療科の認定について

以下の施設が新たに非血縁者間骨髄採取施設・移植診療科として認定されました。現時点での認定施設は178施設です。

◆非血縁者間骨髄採取施設・移植診療科

・採取施設

聖路加国際病院

・移植診療科

同左 血液腫瘍科・小児科

8 非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科の認定について

以下の施設が新たに非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科として認定されました。これまでに認定された施設は60施設です。

◆非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科

・採取施設

千葉大学医学部附属病院

岩手医科大学附属病院

・移植診療科

同左 血液内科／小児科

同左 血液・腫瘍内科／小児科

新規認定施設については、当財団ホームページ>患者さんへ>移植認定病院およびドナー登録されている方へ>面談施設一覧でもご覧いただけます。

9 財団の会議開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に当財団事務局総務部までお申込みください。

会議名	公開・非公開	開催予定	
臨時理事会	公開・一部非公開	9月19日(木) 17:30～	廣瀬第1ビル2階会議室
業務執行会議	公開・一部非公開	10月18日(金) 17:30～	廣瀬第1ビル2階会議室

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

10 「骨髄または末梢血幹細胞提供者となられる方へのご説明書」改訂版「ドナーのためのハンドブック」の使用開始について

マンスリーJMDP8月号でお知らせしたとおり、ドナー用説明資料「骨髄または末梢血幹細胞提供者となられる方へのご説明書」を改訂し、「ドナーのためのハンドブック」に名称を変更して発行します。「ドナーのためのハンドブック」は、「日本骨髄バンク」への法人名称変更に合わせて、10月1日（火）の開始シート送付・確認検査面談・最終同意面談から使用を開始します。

調整医師・採取責任医師の先生方には、今号のマンスリーJMDPに同封して「ドナーのためのハンドブック」をお送りします。コーディネーターの方々には予備分をお送りします（10月1日以降の確認検査面談・最終同意面談では、ドナーが「ご説明書」をお持ちの場合、「ドナーのためのハンドブック」に差し替えます）。

11 「DLIについて」・「DLI採血前のドナーの方へ～DLIに関する説明書～」の改訂について

法人名称変更と「ドナーのためのハンドブック」の使用開始に伴い、「DLIについて」・「DLI採血前のドナーの方へ～DLIに関する説明書～」を一部変更します。

DLI採血施設の先生方・コーディネーターの方々には、今号のマンスリーJMDPに説明書と変更一覧を同封します。

《運用方法》

- ・「DLIについて」は、10/1から変更後の帳票がシステム出力されます。
- ・「DLI採血前のドナーの方へ～DLIに関する説明書～」（システム外）は、10/1以降に地区事務局がドナー、コーディネーター、DLI採血施設に送付する分から変更後の説明書を使用します。
- ・なお9月中に送付された「DLI採血前のドナーの方へ～DLIに関する説明書～」、「DLI（ドナーリンパ球輸注）の採血に関する同意書」、「大腿静脈穿刺に関する同意書」を10/1以降に使用する場合、差し替えの必要はありません。

12 連絡事項

◆第19回コーディネーターブラッシュアップ研修会の出欠確認について

＜コーディネーターの方へ＞

マンスリーJMDP8月号にてご案内のとおり、第19回コーディネーターブラッシュアップ研



修会は、本年 11 月 9 日に開催される「骨髄バンク推進全国大会 in 千葉」に併せて開催します。

ブラッシュアップ研修会の詳細については次号のマンスリー JMDP でご案内します。出欠について返信用紙を同封いたしますので、ご記入の上、9 月 30 日（月）必着でドナーコーディネーター部まで FAX でご返信ください（FAX：03-5280-5580）。

< 1 日目 > 骨髄バンク推進全国大会 in 千葉

日時：平成 25 年 11 月 9 日（土）12 時 30 分～16 時（予定）

場所：京葉銀行文化プラザ 3 階 音楽ホール（千葉県千葉市中央区富士見 1-3-2）

< 2 日目 > 第 19 回コーディネーターブラッシュアップ研修会

日時：平成 25 年 11 月 10 日（日）9 時～13 時（予定）

場所：みやざき倶楽部ミュージックホール（千葉県千葉市中央区宮崎 1-15）

◆ブラッシュアップ研修会での講義に関する事前質問募集について

< コーディネーターの方へ >

11 月 10 日（日）ブラッシュアップ研修会 2 日目に、最終同意立会弁護士としてご協力いただいている村上康聡先生（東京弁護士会）に「ドナー候補者への説明と同意～その法律的な側面～」の演題で、ドナーへの説明のあり方、同意の考え方、立会人の役割等について法律的な観点からお話しいただきます。また、さまざまな事案に対応する専門家のお立場から、コーディネート上の対応に関するアドバイスもいただく予定です。

これらの内容を踏まえて、村上先生に質問がありましたら、9 月 30 日（月）までに、ドナーコーディネーター部指導研修チーム宛てに FAX（書式自由）でお送りください（FAX：03-5280-5580）。可能な範囲で講演中にお答えいただきます。

当日は質問者の氏名は公表しませんが、質問用紙には地区名・氏名を明記してください。

◆「日本骨髄バンク」への名称変更に伴う送付物について

< コーディネーターの方へ >

今号のマンスリー JMDP には、「日本骨髄バンク」への名称変更に伴い以下の物品を同封しておりますのでご確認ください。

- 「日本骨髄バンク」名のコーディネーター証明書（10 月 1 日以降有効）
- 「日本骨髄バンク」の名刺用シール 60 枚
- 「日本骨髄バンク」名の名刺

（「骨髄移植推進財団」の名刺の在庫が少なく、事前に申請のあった方のみ送付）

※ 現在使用している「骨髄移植推進財団」名のコーディネーター証明書は、10 月 1 日以降ご自身で破棄してください。